

ワークショップ「自動運転で動く車のしくみ」
Workshop “Mechanism of Autonomous Driving Car”

バンドー神戸青少年科学館
Bando Kobe Science Museum
Goal 3,4,17

バンドー神戸青少年科学館では、2018年10月8日（月祝）に、ワークショップ「自動運転で動く車のしくみ」を開催しました（協賛：ビー・エム・ダブリュー株式会社 協力：全国科学館連携協議会 企画・制作：日本科学未来館）。

自動運転技術は、交通事故や渋滞、環境負荷を減らすだけでなく、人類に豊かさをもたらす技術として期待されており、その社会実装に向けては、自動運転車がある未来を一人ひとりが考えていくことが求められています。

本ワークショップは、「カーブを曲がる」「信号を見る」など自動運転の動作をロボットにプログラミングし、実際に動かす体験を通して、論理的に物事を考える力を育てるとともに、自動運転技術とともに暮らす未来を考えることが目的です。

参加者は、プログラミングを通して自動運転技術に対する理解を深めた後、交差点の風景のイラストを見ながら自動運転に必要なプログラムを考えたり、自動運転車が事故を起こしたときの責任の所在について意見を出し合ったりして、自動運転についての考えを深め合う姿が見られました。

本ワークショップは、質の高い教育の提供に貢献するだけでなく、企画にあたって、日本科学未来館がこれまで実施してきたロボットに関する子ども向け実験教室のノウハウと、ビー・エム・ダブリュー株式会社の自動運転に関する技術や知見が盛り込まれており、企業と科学館、そして科学館同士の連携は、パートナーシップで目標達成を目指すSDGsの姿勢に通じるものがあります。

本ワークショップは、バンドー神戸青少年科学館にて今後も継続して実施予定です。

